

「うたごえ祭典 in 愛知」の合唱発表会へ！

11月20日

「春を待つ」「道」の2曲を集中レッスン！！

□11月20日(金)の定例レッスンは18:00より、佃さんの体操、本並先生のヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮、近藤静さんのピアノ伴奏で、11月23日の「うたごえ祭典 in 愛知」で発表する「春を待つ」と「道」を集中的に練習しました。参加者は全31名でした。



□「春を待つ」は各パートが音程を正確に出してハーモニーが合う美しさが勝負！
指揮者は1フレーズ毎の音程・強弱・声の響き・表現・dim・クレッシェンド・ディクレッシェンド・ritなどを確認しながらの丁寧な曲作りに取り組みました

□「春を待つ」をどのような表情(顔)をして歌うのか？どのような気持ちで表現するか？議論しあいました。

- ・ワクワク顔で、明るい顔で、・場面場面で顔の表情変えよう、・遠くをみつめて、
- ・どういう気持ちで歌うか？：組曲「雪あかりの路第一曲」としての伊藤整作詞・多田武彦作曲の作品で、情景描写がこの曲のポイントなのだが、私はこの「春」は「解放の春」と思い願っている。聴いてくれるお客さんにもそう伝わったらと願う。しかし、こう歌おうと意思統一して押しつけはできない。各自の思いはどうか？
- ・まだ寒い今、希望のあるあたたかな春がやがて来るのを待ちのぞんでいる。
- ・ぼくらの持っている“春”をイメージしながら歌っている。人それぞれの顔としてうたえばいい。しかし、「昴」として、今日この曲を取り上げて歌うという大きな統一感は欲しい。演奏するうえでの・・
- ・自分は歳をとっている。自分の生きてきた、経験してきた景色や情景を思い起こして、聴く人はそれを聞いてまた自分の情景を思いふくらましてくれる。歌い手は自分の経験した思いを、この詩の思いに託して表現すれば・・・
- ・情景は寒い冬に日なのだが、サウンドはあたたかなものでいっぱい！歌の表現にあたたかさが欲しい。晴れわたっている。真っ白い雪が積もっている。まだ寒いのだが、あたたかさがにじみ出る、

サウンドは暖かい。歌っている思いはバラバラにはならないだろう。

・全体としては「春の顔を!」「春」の詞の声(音質・響き)が大事。「はる」の「は」を好感覚で出せるか?バスパートが最後に出す「はーる」も大事なところ!

・どのような目線で?・目を大きく、ぱっちりと開けて、喉の奥をしっかり開けて、努力して開ききった声を出そう!本番に期待しよう!

□最後は、各パートを2つに分けて、2つの合唱団にして、聴衆を前にして歌う本番さながらの実戦形式で演奏時間を測り、「春を待つ」「道」の2曲を演奏しました。また指揮者の本並先生からは、「皆さん一人一人が最大限の努力でいい声を出して歌いましょう!期待しています。」と激励の言葉をいただきました。

(運営委員会より報告・連絡事項)

1. 「うたごえ祭典 in 愛知 合唱発表会一般の部 B」は11月23日(月・祝)

名古屋文理大学文化フォーラム大ホール 11時開演

「昂」は14:30ロビー集合、リハーサル:14:51、本番:15:18

赤シャツ・9条バッジ・黒ズボン 遅れないように集合のこと。

(会場は11時に始まっているから12時までには入っていること。)

2. 「吉田亜矢子さんがコンサートを開かれます!」

11月28日(土)12:30~「堂島中之島老人いこいの家」で90分出演!

入場料無料です。早目のクリスマスプレゼントです!

3. 岡邑組織部長より、「第10回コンサート曲の習得状況アンケート調査」の集計結果について団員へのアドバイスを兼ねた報告がありました。

各自の暗譜に向けての「習得状況」はまだまだ厳しい状態にあること。「淀川三十石舟唄」は前回舞台上げるのに2年かかった。「春を待つ」も1年半かかっている。今回は周りに歌えるメンバーがいるので何とか歌えている状況だ・・

定例レッスンの練習だけでは全曲暗譜は不可能な状況であること、個人の自宅での集中的なレッスンを強めること、時間のある限り、例えば電車の行き返りのなかで暗譜で口ずさむことをすること、ICレコーダーに録音して、それを聴きながら覚えること、練習だけでは絶対覚えられないこと、自覚的に取り組んでほしいとの各メンバーへの努力への要請がありました。

4. 立川事務局長より、「上町中学事前アップ事業昂コンサート」を聴きにきた中学生からお礼の手紙が届いていることの報告がありました。10名ほどの生徒の感想文が読み上げられ、豊かな若者の感受性に励まされました。(詳細は続報で)

山本力写真ギャラリー

こんにちは。

「昂」の歌にあう写真がなかなか見つかりません。

冬の夜空のオリオン星座の「昂」は私の腕ではかかないませんので、

添付の写真は、14年7月13日午前4:30頃の美ヶ原・王が頭(日本百名山の一つ・標高2,034m)からみた夜明けです。

